

抗菌薬(抗生物質)をお使いになる方へ

抗菌薬を処方されたら

— 指示どおりに飲むことが大切です —

抗菌薬 3つのお願い

1 医師の指示どおりに飲む

症状が良くなっても、自己判断で中止せず、決められた日数で飲んでください。

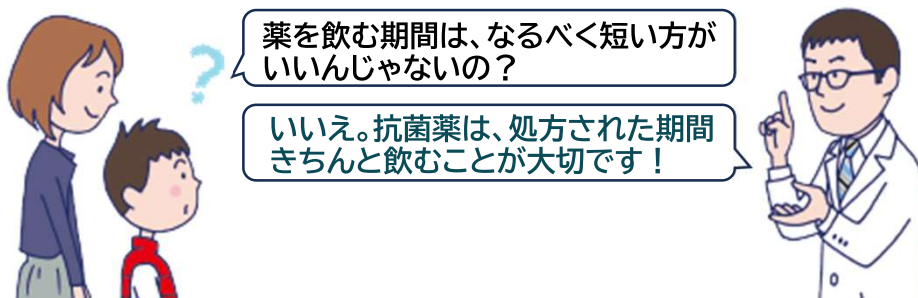
2 別の機会に使わない

抗菌薬は、そのときの症状に合わせて処方されています。

残しておいて別の機会に使ったり、他の人にあげたり、もらったりしないでください。

3 不安があったら、すぐに相談する

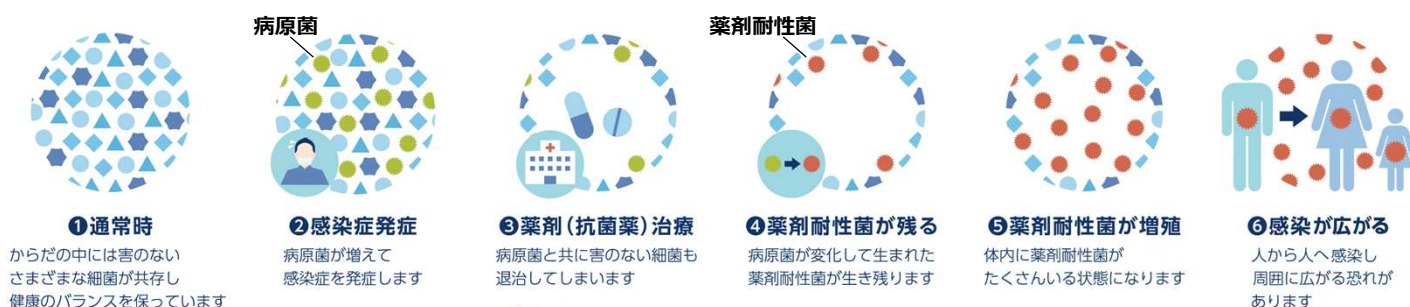
具合が悪くなった・飲み切れそうにないときなど、不安があれば自己判断せず薬剤師にご相談ください。



抗菌薬を指示通り使わないと、どうなるの？

抗菌薬は、決められた量・間隔・日数で飲むことで、十分な効果を発揮します。つらかった症状がよくなっても、原因となった細菌はまだ残っていることがあり、ここで**抗菌薬をやめると再発**したり、**薬が効きにくい菌(薬剤耐性菌)**が増えてしまう可能性があります。

薬剤耐性菌ができるまで





「家に残っている抗菌薬をあげよう」 — ちょっと待ってください！



- 抗菌薬は、あなたのそのときの症状やからだの状態に合わせて処方されています。
- 似ている症状でも状況によって必要な薬の種類・量・日数が異なる場合があります。
- 処方された抗菌薬をとっておいて後で飲んだり、他の人に処方された抗菌薬をもらって飲んだりしてはいけません。

「薬剤耐性(AMR)」とは？

薬剤耐性とは、感染症の原因となる細菌に抗菌薬が効かなくなることです。

抗菌薬を指示どおりに飲まない、薬が効かない菌(耐性菌)が生き残って増えていくことがあります。耐性菌が増えると、感染症治療だけでなく、手術やがん治療などのさまざまな医療に支障をきたすおそれがあります。

最近では、新しい抗菌薬の開発は難しくなっています。将来も使える抗菌薬を残すため、今ある抗菌薬を正しく使うことが大切です。

抗菌薬を正しく飲むことが、将来のあなたと大切な人の治療を守ります

抗菌薬 飲み忘れ防止チェック表（飲んだら✓を入れましょう）

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	13日目	14日目
月/日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
朝														
昼														
夕														
寝る前														

※ 用法・日数は処方によって異なります。使わない欄は斜線を引いてお使いください。

お薬の名前 _____

服用日 / ~ /

飲む回数・タイミング _____

薬局名/薬剤師名 _____

気になることや不安があれば、いつでも薬剤師におたずねください。



AMR 臨床リファレンスセンター
Antimicrobial Resistance Clinical Reference Center